

令和7年度 ノースアジア大学・秋田栄養短期大学入学式 学長告辞

あたたかい日が多くなってきましたが、この春のよき日に、本学に入学した皆さんを心から歓迎をいたしたいと思います。

今日、皆さんが本学に入学するにあたって、二つのことを申し上げたいと思っています。どちらも大学で勉強するときに非常に大切なことです。

まず一つ目ですが、ぜひ健康な学園生活を送ってもらいたいということです。

何をやってもすぐ疲れる、あるいは、やる気が起きない、朝も起きられないというような人がいます。元気に生活していくための必要な、栄養素が欠乏しているといわれています。楽しく健康に生活していくために、最小限、必要な栄養素を、きちんと摂らなくてはならないんです。

最近の研究で、やる気が出ないのも、鬱になることも、栄養素の欠乏ということが、さんざん言われるようになっていきます。

栄養学の先進国アメリカですが、今、スーパーヘルスということが言われています。はつらつと、楽しく、元気に仕事をする、あるいは勉強する、部活もするためには、どんな栄養素が必要かということなんです。

私たちの祖先は、この地球に38億年前に、本当に小さな単細胞として生まれました。それから32億年の時を経て、細胞がたくさん集まった、複合細胞の生物になります。そして、そのあと、動物と植物が分かれてきたんです。結局、健康というのは、細胞の健康なんです。

こういう実験の報告があります。植物のトマトは、1年で枯れてしまい、実を数十個ならせるだけが限界ですけれども、ビタミンやミネラルなどのすべての栄養素を過不足なく与え、水も、太陽の光も十分に与えたトマトの苗は、左右に10メートルにも大きく成長し、数千から1万を超えるような実をならせたというのです。そして、そのトマトは、1年で枯れることもなく、何年にもわたって実をならせ続けました。

植物も、私たちのような動物も、みんな細胞の塊でできています。人間は、60兆もの細胞が体液の中を浮遊している状態で生きています。植物も一緒なんです。

これはエジプトの話ですけれども、ある河川の支流の近くに住んでいた部族が、大人になっても十分に成長することができず、本当に小さいまま、「小人族」と言われていました。遺伝ではないか、といわれていたんですが、研究で栄養失調だということが分かってきたんです。

地域の河川の氾濫で、いろんなミネラルなどの栄養素が、畑などに散布・拡散されたわけですが、護岸工事が十分にできるようになった後、畑の栄養素は、連作によってだんだん枯渇していきました。

例えば、細胞分裂には亜鉛というミネラルが必要ですが、そこでは、畑にこの栄養素が枯渇してしまっていたんです。

その畑に50ppmほどあった亜鉛が、連作を続けることによって、毎年2ppmほど減少していき、約25年で、畑から亜鉛が全くなくなってしまうました。

亜鉛だけではありません。体はいろいろな栄養素で組み立てられており、何一つ不必要なものはないと思います。何か一つが欠けていれば、致命的な問題が起きてしまいますので、どのようなものを食べた方がいいのかということ、ぜひ考えてもらいたいと思います。

二つ目ですが、勉強も部活もそうですけれども、楽しくやってもらいたいのです。

我慢して勉強している、部活をする。それではいけないと思います。

孔子が、こう言っているんです。「これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず」

嫌いだとダメだというんですね。好きにならないと、楽しくならないと、何も成功しません。勉強だって、そして仕事だって一緒です。成功した人は、学校の際は勉強、そして、仕事に就いてからは、その仕事を好きになる。熱中した人なんです。

勉強が好きになるについても、実はコツがあるんです。どんなに嫌いな科目でも、好きになる方法があります。

勉強については、皆さんの大先輩にあたる先生方がたくさんいますので、ぜひ、どうすれば勉強が好きになり、そして、成績も良くなるかということを探ねてもらいたいと思います。

なかなか、大学の教員というと敷居が高いように見えますが、先生方は、学生諸

皆さんが、ノースアジア大学、秋田栄養短期大学に入って良かったと思えるような、楽しい学生生活を送っていただければと思います。

ご父母の皆様にもこの場を借りて御礼を申し上げ、告辞といたしたいと思います。

入学、大変おめでとうございます。

皆さんが、ノースアジア大学、秋田栄養短期大学に入って良かったと思えるような、楽しい学生生活を送っていただければと思います。

ご父母の皆様にもこの場を借りて御礼を申し上げ、告辞といたしたいと思います。

入学、大変おめでとうございます。

令和7年4月2日
ノースアジア大学
秋田栄養短期大学
学長 小泉 健